

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会  
企画・広報分科会  
10年度活動報告・11年度活動計画(案)**

2011年4月20日  
企画・広報分科会

## ○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

富田 義数（三洋電機 研究開発本部技術企画室 担当上席部長）

⇒ 交代

松本 幸則（三洋電機 研究開発本部技術企画室戦略企画部 担当部長）

（サブリーダー）

田畑 雅章（NTTコミュニケーションズ 法人事業本部 第二法人営業本部 第二営業部 担当部長）

山内 正巳（KDDI 官公庁営業部 営業3グループ グループリーダー）

松居 真一（パナソニック コーポレートR&D戦略室 研究開発推進グループ

R&D推進チーム チームリーダー）

## ○ 分科会の活動方針

### 1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査、内外の動向調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

### 2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

### 3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

## 1. 創造系活動

- ① 新たに、映像コミュニケーションWGをユニバーサルコミュニケーション分科会のもとに設立し、メンバーの募集を開始。
- ② WG活動支援費を新設し、会員企業数に応じてWGに配分した。補正予算により増額し、実験用機器や研究会旅費などに利用していただいた。
- ③ セミナー、シンポジウムでアンケートをとり、協議会活動への要望等を取りまとめた。

## 2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010「動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢～北ヤードは何をもたらすのか～」開催（12月9日@大阪梅田スカイビル）。
- ② けいはんな情報通信研究フェア2010（11月、けいはんな）において、新たにブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施。
- ③ セミナーの開催による情報提供、人材育成を実施（5月10日に「2次元通信セミナー」@ATRを実施）。
- ④ 平城遷都1300年祭にて、大極殿の映像の衛星中継などデモンストレーションを実施。
- ⑤ ウェブページによる会員相互のコミュニケーションを促進し、協議会活動の一層のPR、普及・啓発活動の強化につとめた。特に、ウェブページに研究資金の公募情報を充実させた。
- ⑥ 新パンフレットの作成。
- ⑦ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム等）との交流促進。
- ⑧ 地域の研究開発活動との連携強化の検討（けいはんなエコシティ推進会議、ユビキタス特区、うめきたナレッジキャピタル等）。

## 3. 整備系活動

- ① 超高精細3D映像テストベッドの整備などオープンラボ施設の充実につとめた。
- ② JGN2Plusなどのネットワーク施設の維持、運用をおこなった。

# 2010年度の活動報告②

	2010年 4月 5月 6月	7月 8月 9月	10月 11月 12月	2011年 1月 2月 3月 4月
企画・広報分科会	● 第8回分科会 (4/8)			● 第9回分科会 (4/7)
創造系活動	● 映像コミュニケーションWG設立、 メンバー募集	WG活動支援	● WG活動費 増額	
促進系活動	→ セミナー 開催準備	● 平城遷都 1300年祭展 示(7月)	→ シンポジウム 開催準備	● 平城遷都 1300年祭展 示(11/5-7)
		→ 随時情報発信(Webサイト&Newsメール送付)		
整備系活動		→ けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用		
		→ JGN2Plusなどのネットワーク施設整備・運用		
【オープンラボ関連】	● 第10回 運営研究 部会 (4/20)	● セミナー (5/10)	● 第9回 協議会 総会 (5/27)	● 第11回 運営研究 部会 (4/20)
	→ オープンラボ協議会事務局打合せ、月1回程度開催			

# けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 2次元通信セミナー 開催結果

○開催日時：2010年5月10日(月) 14:00~17:00  
於：(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) G階・01会議室

- 講師：
- 「フレキシブル二次元導波路によるスマートスーツ」  
横浜国立大学大学院工学研究院 教授 新井 宏之 氏
  - 「人体近傍電界通信技術の開発とアプリケーションの開拓」  
NTTマイクロシステムインテグレーション研究所 門 勇一 氏
  - 「マイクロ波無線電力伝送の現状と課題－他方式との比較－」  
京大大学生存圏研究所 教授 篠原 真毅 氏
  - 「二次元通信技術の現状と課題」  
東京大学情報理工学系研究科 准教授 篠田 裕之 氏
  - 「協議会における二次元通信WGの活動と今後の予定」  
情報通信研究機構新世代ワイヤレス研究センター 張 兵 氏

○出席者数：56名

○アンケート回収数：26名

## ○概要

2次元通信とは、テーブルや壁などに機器を接触させるだけで高速通信や電源供給を可能にする技術で、今後大きく発展することが見込まれている。また、2次元通信技術の関連技術として近傍界での信号伝送とワイヤレス電力伝送技術の研究開発も注目されており、そのキラ・アプリケーションの開拓もたいへん期待されている。

本セミナーでは、まず新井先生はフレキシブル二次元導波路によるスマートスーツの開発について紹介された。次に、門部長は人体近傍電界通信の技術開発の背景と原理を述べられたとともに、安定な人体通信を確保するために効率的な電界誘起技術と環境雑音除去技術について解説された。また、篠原先生はマイクロ波無線電力伝送について総括され、各方式の特徴をまとめることにより他方式との比較が行われた。さらに、篠田先生は二次元通信の最新成果を交えて、その原理説明から多様なアプリケーションの可能性について紹介された。最後に、張主任研は協議会における二次元通信WGの活動紹介と今後の予定について紹介された。

参加者アンケートでは「ためになった」との感想が96%あり、「情報通信IT分野の最先端技術の現状と課題をまとめた今回のようなセミナーは是非聞きたい」、「非常に中身のあるセミナーだった」など好評を得た。



# けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010 開催結果

○開催日時：2010年12月9日(木) 13:30～17:30  
 於：梅田スカイビル(大阪市北区)

○来場者数 : 225名(交流会は74名)

○アンケート回収数 : 38名

## ○全体講評

会場がほぼ満員となる中、基調講演では、科学・技術と感性やアートとを融合し、ランドデザインを描くことが今後の方向として重要であるという指摘をいただきました。パネルディスカッションにおいても、新たな産学官連携の場となることを目指し開発が進む北ヤードとけいはんな地区との連携のあり方や感性を磨く場としての北ヤードの有用性などが議論されました。出席者からは、活発な議論が興味深かった、北ヤードでの技術やサービスの展開への期待や意気込みを感じたなどの感想をいただきました。

## テーマ：動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢

～北ヤードは何をもたらすのか～

### ○プログラム

#### ◆開会挨拶・主催者挨拶

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事長  
 松下 正幸氏(パナソニック株式会社 副会長)

#### ◆基調講演「新たな価値創造拠点～梅田北ヤードを語る」

宮原 秀夫氏(NICT理事長)

#### ◆特別講演「大阪・関西の発展に向けて

～大阪市の成長戦略と大阪駅北地区での取組み～

北村 英和氏(大阪市計画調整局長)

#### ◆協議会の活動紹介

・エネルギーの情報化ワーキンググループ 松山 隆司氏(京都大学教授)  
 ・映像コミュニケーションワーキンググループ 荒川 佳樹氏(NICT)

#### ◆パネルディスカッション

「大阪駅北地区への期待」

(チェア) 宮原 秀夫氏(NICT理事長)

(パネリスト)

- ・下條 真司氏(NICT上席研究員・VislaboOSAKAリーダー)
- ・野村 卓也氏((株)スーパーステーション代表取締役)
- ・萩田 紀博氏(ATR情報環境総合研究所所長)
- ・長谷 雅彦氏(NTTサイバーコミュニケーション総合研究所所長)
- ・玉井 博文氏(マッスル(株)代表取締役)

#### ◆閉会挨拶

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事・部会長  
 丸野 進氏(パナソニック株式会社 理事・技監)

#### ◆展示会・交流会



開会挨拶・主催者挨拶：  
松下正幸氏



基調講演：宮原秀夫氏



特別講演：北村英和氏



閉会挨拶：丸野進氏



ワーキンググループ会員企業  
や関連団体のポスター展示



会場から見た大阪  
駅北地区開発現場



パネルディスカッション

## 1. 創造系活動

- ① NICTの新中期計画にともなう協議会体制の整備検討
- ② WG活動費によるWG活動の支援を継続

## 2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2011の開催（11月か12月ころ）
- ② けいはんな情報通信研究フェア2011において、研究活動紹介、広報活動（11月、けいはんな）
- ③ 国民文化祭・京都2011において、研究活動紹介とPRの実施（10月下旬）
- ④ セミナー、ワークショップなどの開催による情報提供、人材育成の実施
- ⑤ ウェブページを活用した会員相互の交流の促進、協議会活動の一層のPRや広報・啓発活動の強化
- ⑥ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net等）との交流促進
- ⑦ 地域の研究開発活動との連携強化（けいはんなエコシティ推進会議、うめきたナレッジキャピタル等）

## 3. 整備系活動

- ① NICTの新体制にともなうオープンラボ施設の充実
- ② 次期テストベッドJGN-Xへの移行と新たなネットワーク実験計画の策定

# 2011年度の活動計画②

	2011年 4月 5月 6月	7月 8月 9月	10月 11月 12月	2012年 1月 2月 3月 4月
企画・広報分科会	● 第9回分科会 (4/7)			● 第10回分科会 (4月頃)
創造系活動		WG活動支援		
促進系活動	セミナー 開催準備	ニーズ調査、動向調査、	テーマ検討、体制整備 ● 国民文化祭	セミナー 開催準備
整備系活動		随時情報発信(Webサイト&Newsメール送付)		
		けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用		
		JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用		
【オープンラボ関連】	● 第11回 運営研究 部会 (4/20)	● 第10回 協議会 総会 (5/31)	● セミナー	● けいはんな 情報通信研 究フェア2011 (11/10-12)
			● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)	● セミナー ● 第12回 運営研究 部会 (4月頃)
		オープンラボ協議会事務局打合せ、月1回程度開催		



### ○協議会のあり方について

- ・オープンラボの利用方法をわかりやすく示してほしい。
- ・オープンラボ施設のニーズ調査が必要ではないか。
- ・協議会のアピールがもっと必要。
- ・WG活動費の使途をわかりやすく、または幅を広げてほしい。

### ○震災対応について

- ・協議会として出来ることについて、短期的なものの中長期的なもの、東日本の復興と西日本での対策、などと場合分けをして、各WGにて議論してはどうか。
- ・次のシンポジウムを仙台で災害時の情報通信をテーマに実施してはどうか。
- ・つくばとけいはんなのお互いの研究開発のバックアップ機能を検討してはどうか。
- ・計画停電回避や電力使用量の抑制のための技術開発も重要ではないか。